

(13) えだまめ

病害虫	防除法	参考事項
菌核病	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 発病を認めたら、下記薬剤のいずれかを散布する。 薬剤名 スクレアフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 ロブラール水和剤	
紫斑病	(耕種的・物理的防除) 1 無病株から採種する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 キヒゲンを乾燥種子重量の1%粉衣するか、キヒゲンR-2フロアブルを乾燥種子1kg 当たり原液20ml塗沫処理する。 2 ゲッター水和剤又は撒粉ボルドー粉剤DLを発生初期に散布する。	
白絹病	(耕種的・物理的防除) 1 発病株は、周囲の表土と共に抜き去る。	○ イネ科作物と輪作するとよい。
灰色かび病	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 スクレアフロアブル又はロブラール水和剤を発生初期に散布する。	
モザイク病	(耕種的・物理的防除) 1 無病株から採った種子を使う。 2 苗床には発芽直前から白寒冷紗をかけ、有翅アブラムシの飛来を防ぐ。 3 本ぼでは、シルバーポリマルチ(例：シルバーポリトウ、ムシコン)を使用する。 4 発病株を速やかに抜き去る。 (薬剤防除) 1 アブラムシを防除 する。	○ 種子伝染する。 ○ 病株の種子は褐色斑粒を生ずることが多い。

病害虫	防除法	参考事項
ダイズサヤタマバエ、 チョウ目害虫、 カメムシ類	(薬剤防除) 農薬登録情報 【ダイズサヤタマバエ】・【マメシンクイガ】・【シロイチモジマダラメイガ】・【カメムシ類】 1 下記薬剤のいずれかをする。 【ダイズサヤタマバエ】 薬剤名 スタークル/アルバリ ン顆粒水溶剤 トレボン乳剤 【マメシンクイガ】 薬剤名 トレボン乳剤 トレボンMC フェニックス顆粒水和剤 【シロイチモジマダラメイガ】 薬剤名 トレボン乳剤 【カメムシ類】 薬剤名 エクシードフロアブル カスケード乳剤 キラップフロアブル スタークル/アルバリ ン顆粒水溶剤 トレボン乳剤 トレボンMC	
タネバエ	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 カルホス微粒剤Fを土壌表面散布土壌混和処理、又はダイアジノン粒剤5を全面土壌混和又は作条土壌混和する。 2 クルーザーMAXXを塗沫処理する。	

病害虫	防除法	参考事項																								
ハスモンヨトウ	(予防に関する措置) 1 ほ場内及びその周辺の雑草の防除に努める。 2 施設栽培では、成虫の侵入防止対策として、換気窓等の施設開口部への防虫ネットによる被覆や防蛾(が)灯(黄色灯)の夜間点灯を行う。 3 施設栽培においては、栽培終了後に蒸込み処理を行う。 (判断、防除に関する措置) 1 卵塊や若齢幼虫が群生している葉を見つけ次第、除去する。 2 発生予察情報を参考に、ほ場の見回り等による早期発見に努め、発生初期に薬剤散布等を実施する。 3 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 4 作物残さを適切に処分する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 BT 剤 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>エコマスターBT</td></tr><tr><td>クオークフロアブル</td></tr><tr><td>サブリナフロアブル</td></tr><tr><td>デルフィン顆粒水和剤</td></tr><tr><td>フローバックDF</td></tr></table> 2 下記薬剤を施用する。 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>オルトラン水和剤</td></tr><tr><td>トレボン乳剤</td></tr><tr><td>トレボンMC</td></tr><tr><td>フェニックス顆粒水和剤</td></tr><tr><td>ブレバゾンフロアブル5</td></tr><tr><td>アニキ乳剤</td></tr><tr><td>アフーム乳剤</td></tr><tr><td>ディアナSC</td></tr><tr><td>アタブロン乳剤</td></tr><tr><td>ノーモルト乳剤</td></tr><tr><td>マッチ乳剤</td></tr><tr><td>マトリックフロアブル</td></tr><tr><td>アクセルフロアブル</td></tr><tr><td>グレーシア乳剤</td></tr><tr><td>トルネードエースDF</td></tr><tr><td>プレオフロアブル</td></tr><tr><td>ベネビアOD</td></tr></table>	薬剤名	エコマスターBT	クオークフロアブル	サブリナフロアブル	デルフィン顆粒水和剤	フローバックDF	薬剤名	オルトラン水和剤	トレボン乳剤	トレボンMC	フェニックス顆粒水和剤	ブレバゾンフロアブル5	アニキ乳剤	アフーム乳剤	ディアナSC	アタブロン乳剤	ノーモルト乳剤	マッチ乳剤	マトリックフロアブル	アクセルフロアブル	グレーシア乳剤	トルネードエースDF	プレオフロアブル	ベネビアOD	
薬剤名																										
エコマスターBT																										
クオークフロアブル																										
サブリナフロアブル																										
デルフィン顆粒水和剤																										
フローバックDF																										
薬剤名																										
オルトラン水和剤																										
トレボン乳剤																										
トレボンMC																										
フェニックス顆粒水和剤																										
ブレバゾンフロアブル5																										
アニキ乳剤																										
アフーム乳剤																										
ディアナSC																										
アタブロン乳剤																										
ノーモルト乳剤																										
マッチ乳剤																										
マトリックフロアブル																										
アクセルフロアブル																										
グレーシア乳剤																										
トルネードエースDF																										
プレオフロアブル																										
ベネビアOD																										

病害虫	防除法	参考事項																										
センチュウ類	(耕種的・物理的防除) 1 連作を避ける。 2 有機物の施用に努める。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物的防除 <table><tr><th>薬剤名</th></tr><tr><td>パストリア水和剤 (パストゥーリア ペネトランス水和剤)</td></tr></table> 2 下記薬剤を施用する。 <table><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr><tr><td>DC油剤/D-D/テロン</td><td></td></tr><tr><td>バイデートL粒剤</td><td>○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。</td></tr><tr><td>ネマキック粒剤</td><td></td></tr><tr><td>石灰窒素50</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>石灰窒素55</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>粒状石灰窒素55</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>カルメート55</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>カルメート60</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>粒状石灰窒素40</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>粒状石灰窒素</td><td>石灰窒素資材</td></tr><tr><td>石灰窒素50防散</td><td>石灰窒素資材</td></tr></table>	薬剤名	パストリア水和剤 (パストゥーリア ペネトランス水和剤)	薬剤名	備考	DC油剤/D-D/テロン		バイデートL粒剤	○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。	ネマキック粒剤		石灰窒素50	石灰窒素資材	石灰窒素55	石灰窒素資材	粒状石灰窒素55	石灰窒素資材	カルメート55	石灰窒素資材	カルメート60	石灰窒素資材	粒状石灰窒素40	石灰窒素資材	粒状石灰窒素	石灰窒素資材	石灰窒素50防散	石灰窒素資材	○ 主にダイズシストセンチュウが寄生して被害を及ぼす。 ○ 生物農薬使用上の留意事項 1 パストゥーリア ペネトランスがほ場に定着し、効果を発揮するまで、2～3年かかる。この間、D-D剤や粒剤を用い体系的な防除に努める。 2 くん蒸剤には、キルパー、テロン、D-D剤を使用できるが、クロルピクリンは土壌中のパストゥーリア ペネトランスに影響を与えるため使用できない。 3 防除効果は、サツマイモネコブセンチュウに限定される。
薬剤名																												
パストリア水和剤 (パストゥーリア ペネトランス水和剤)																												
薬剤名	備考																											
DC油剤/D-D/テロン																												
バイデートL粒剤	○処理直後に作付けできる。 ○石灰などアルカリ性肥料の同時施用は避けること。 ○植物に吸収されて効果を現すので、土壌水分を高く保つ。 ○毒性が強いので、取り扱いに十分注意する。																											
ネマキック粒剤																												
石灰窒素50	石灰窒素資材																											
石灰窒素55	石灰窒素資材																											
粒状石灰窒素55	石灰窒素資材																											
カルメート55	石灰窒素資材																											
カルメート60	石灰窒素資材																											
粒状石灰窒素40	石灰窒素資材																											
粒状石灰窒素	石灰窒素資材																											
石灰窒素50防散	石灰窒素資材																											

病害虫	防除法	参考事項																																												
アブラムシ類	(耕種的・物理的防除) 1 近紫外線除去フィルムは成虫の飛来を減らす効果があるので、これらのフィルムを施設の外張りやトンネルに使用する。 2 施設では、側窓や天窓などの開口部に寒冷紗や防虫ネット等を張り、成虫の飛来を防ぐ。 3 マルチをする場合は、シルバーポリマルチなど忌避効果のあるものを使用する。 (薬剤防除) 農薬登録情報 1 生物的防除 <table><thead><tr><th>薬剤名(天敵名)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>アフィパール (コレマンアブラバチ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>コレトップ (コレマンアブラバチ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>チャバラ (チャバラアブラコバチ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>テントップ (ナミテントウ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>カメノコS (ヒメカメノコテントウ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>プリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)</td><td>ワタアブラムシのみ</td></tr></tbody></table> 2 農薬を使用する場合には、同一系統の薬剤の連続使用を避け、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。さらに、地域内で薬剤抵抗性等が確認されている薬剤の使用判断については指導機関の指示に従う。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>オルトラン水和剤</td><td></td></tr><tr><td>スミチオン乳剤</td><td></td></tr><tr><td>アクトラ顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>ダントツ水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>モスピラン顆粒水溶剤</td><td></td></tr><tr><td>ウララDF</td><td></td></tr><tr><td>コルト顆粒水和剤</td><td>受粉昆虫使用時注意</td></tr><tr><td>ウララDF</td><td></td></tr><tr><td>コルト顆粒水和剤</td><td></td></tr><tr><td>アドマイヤー1粒剤</td><td></td></tr><tr><td>ダントツ粒剤</td><td></td></tr><tr><td>モスピラン粒剤</td><td></td></tr></tbody></table> 3 クルーザーMAXXを塗沫処理する。	薬剤名(天敵名)	備考	アフィパール (コレマンアブラバチ)	施設のみ	コレトップ (コレマンアブラバチ)	施設のみ	チャバラ (チャバラアブラコバチ)	施設のみ	テントップ (ナミテントウ)	施設のみ	カメノコS (ヒメカメノコテントウ)	施設のみ	ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)	施設のみ	プリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)	ワタアブラムシのみ	薬剤名	備考	オルトラン水和剤		スミチオン乳剤		アクトラ顆粒水溶剤		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤		ダントツ水溶剤		モスピラン顆粒水溶剤		ウララDF		コルト顆粒水和剤	受粉昆虫使用時注意	ウララDF		コルト顆粒水和剤		アドマイヤー1粒剤		ダントツ粒剤		モスピラン粒剤		○ 天敵農薬使用上の留意事項 1 天敵昆虫製剤 (1) 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 (2) アブラムシ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。また、アブラムシの種類と天敵の組み合わせによっては、効果が認められない場合がある。 2 天敵微生物製剤 (1) 使用期間中にやむをえず他剤を併用する場合は、農薬安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」を参照し、影響の少ない農薬を選択する。 (2) アブラムシ類の生息密度が高まってからの散布では十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの処理が重要である。
薬剤名(天敵名)	備考																																													
アフィパール (コレマンアブラバチ)	施設のみ																																													
コレトップ (コレマンアブラバチ)	施設のみ																																													
チャバラ (チャバラアブラコバチ)	施設のみ																																													
テントップ (ナミテントウ)	施設のみ																																													
カメノコS (ヒメカメノコテントウ)	施設のみ																																													
ゴッツA (ペキロマイセス テヌイペス)	施設のみ																																													
プリファード水和剤 (ペキロマイセス フモソロセウス)	ワタアブラムシのみ																																													
薬剤名	備考																																													
オルトラン水和剤																																														
スミチオン乳剤																																														
アクトラ顆粒水溶剤																																														
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																																														
ダントツ水溶剤																																														
モスピラン顆粒水溶剤																																														
ウララDF																																														
コルト顆粒水和剤	受粉昆虫使用時注意																																													
ウララDF																																														
コルト顆粒水和剤																																														
アドマイヤー1粒剤																																														
ダントツ粒剤																																														
モスピラン粒剤																																														
コガネムシ類	(薬剤防除) 農薬登録情報 1 成虫の飛来が多く食害が著しい場合は、開花前から着莢後にマラソン乳剤50を散布する。																																													

病害虫	防除法	参考事項																			
ハダニ類	(薬剤防除) 農業登録情報 1 生物的防除 ハダニ類に対しては、以下のような天敵農薬の登録がある。 <table><thead><tr><th>薬剤名(天敵名)</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>スパイデックス (チリカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>チリガブリ (チリカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>チリトッブ (チリカブリダニ)</td><td>施設のみ</td></tr><tr><td>システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)</td><td></td></tr><tr><td>スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)</td><td></td></tr></tbody></table> 2 下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>コテツフロアブル</td></tr><tr><td>コロマイト乳剤</td></tr><tr><td>ダニトロンフロアブル</td></tr><tr><td>ニッソラン水和剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名(天敵名)	備考	スパイデックス (チリカブリダニ)	施設のみ	チリガブリ (チリカブリダニ)	施設のみ	チリトッブ (チリカブリダニ)	施設のみ	システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)		スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)		スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)		薬剤名	コテツフロアブル	コロマイト乳剤	ダニトロンフロアブル	ニッソラン水和剤	○ 天敵農薬使用上の留意事項 1 天敵の放飼と薬剤散布(殺菌剤を含む)とを併用する場合は、農業安全使用に関する参考資料の章の「天敵等への化学農薬の影響の目安」の項を参照し、天敵に影響の少ない農薬を選択する。 2 ハダニ類の生息密度が高まってからの放飼は十分な効果を得られない場合があるので、発生初期からの放飼が重要である。
薬剤名(天敵名)	備考																				
スパイデックス (チリカブリダニ)	施設のみ																				
チリガブリ (チリカブリダニ)	施設のみ																				
チリトッブ (チリカブリダニ)	施設のみ																				
システムミヤコくん (ミヤコカブリダニ)																					
スパイカルプラス (ミヤコカブリダニ)																					
スパイカルEX (ミヤコカブリダニ)																					
薬剤名																					
コテツフロアブル																					
コロマイト乳剤																					
ダニトロンフロアブル																					
ニッソラン水和剤																					
フタスジヒメハムシ	(薬剤防除) 農業登録情報 1 生育時に下記薬剤のいずれかを散布する。 <table><thead><tr><th>薬剤名</th></tr></thead><tbody><tr><td>アグロスリン乳剤</td></tr><tr><td>スタークル/アルバリン顆粒水溶剤</td></tr><tr><td>トレボン乳剤</td></tr><tr><td>モスビラン顆粒水溶剤</td></tr></tbody></table>	薬剤名	アグロスリン乳剤	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	トレボン乳剤	モスビラン顆粒水溶剤	○ 成虫はだいずの葉、子葉、莢、茎などを食害する。幼虫は根粒内に潜入して内部を食害する。老熟するまでに数個の根粒を食害するので、多発地ではだいずの生育が悪くなる。														
薬剤名																					
アグロスリン乳剤																					
スタークル/アルバリン顆粒水溶剤																					
トレボン乳剤																					
モスビラン顆粒水溶剤																					